

ビジネスモデルコンテストのご支援ありがとうございました

第 5 回カンボジアビジネスモデルコンテストは、スポンサーとなっていただきました企業・団体の方々のご支援のおかげをもちまして、無事に開催することができました。ありがとうございました。今回 1 位と 2 位を受賞したチームは、メコン流域 6 か国で競うメコンチャレンジ(3/14 ベトナムのハノイで開催)に出場します。CIESF が起業家育成で支援しているミャンマーとカンボジアのチームの健闘を祈ります。



- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| ◆ゴールドスポンサー
(カンボジア) | ◆シルバースポンサー
(カンボジア) |
| • GL Finance Plc. | • Sokha Hotel Phnom Penh |
| • Manulife (Cambodia) Plc. | (日本) |
| • Sathapana Limited
(日本) | • 株式会社アカデミー |
| • キリンビバレッジ株式会社 | ◆ブロンズスポンサー (カンボジア) |
| • 株式会社あなたの幸せが私の幸せ CO.,LTD | • FORVAL (CAMBODIA) |

カンボジアの教科書事情 ④

「国境なき教師団」の元教育アドバイザーである筑八郎(かけひはちろう)先生がまとめた、「カンボジアの教科書事情」についてご紹介します。カンボジアでは無償のはずの教科書が子ども全員に行き届かないという問題があります。配布されずに市場にて有償で販売されていたりするので。ニュースレター12月号の続きです。

ある教員養成校の卒業生へのアンケートの回答に、**子どもにも、そして教師自身にも教科書がしっかり配布されるようになってほしい**というものがありました。生活に余裕のある家庭の子どもなら市場で売られている教科書を買えますが、田舎の貧しい子どもたちにはそれもできません。そうなれば、先生が教科書の内容を黒板に書き、子どもがそれをノートに写すという授業になります。仲間で教科書をいっしょに使って勉強するというのもよくあります。自分の教科書を学校に持って来なくても、先生もそれ程気にしていないようにも見えました。国によっては、貸出制を取っている場合、教科書とは別にワークブックを用意し、それには自由に書き込みができ、しかも自分のものになるようにしているようです。残念ながら、**教育予算も教師の給料も安いカンボジアでは、ワークブックどころかプリント 1 枚すらなかなか用意できません。**ときどき外国の団体から副読本などの寄付があるようです。でも国全体に行き届くことはないのではないのでしょうか。(次号に続く)



CIESF サポーター募集

- 法人サポーター 1口10万円(寄付から1年間)
- スペシャルサポーター 1口5万円(寄付から1年間)
- 個人サポーター 1口1万円(寄付から1年間)

三菱東京 UFJ 銀行 青山支店(店番 608)普通預金
口座番号 0021714
口座名 公益財団法人 CIESF 理事長大久保秀夫

※ゆうちょ銀行、楽天銀行、クレジットカードでの寄付については、CIESF ホームページをご覧ください。



CIESF の支援活動は寄付で成り立っています。皆さまのあたたかいお気持ちをお待ちしております。

編集後記 久しぶりにカンボジアの地を踏みました。年々発展を遂げ、エネルギーになっていくプノンペンの街を目の当たりにすると、ハードスケジュールでぶっ飛ばす出張なのに、もりもりと元気をもらいました。「モノやテクノロジーではなく、国を動かしていくのは人間だ」カンボジアで感じたことです。人材育成は大事。(YM)

発行：公益財団法人 CIESF
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-7-5
URD 渋谷第 2 ビル 4F



CIESF NEWS LETTER

シーセフ ニュースレター

2015 February

第 29 号

公益財団法人 CIESF(シーセフ)は、非営利で国際的な民間の支援団体です。基礎教育の質の向上を主な目的とし、その上で高度人材育成も行い、カンボジアをはじめとした途上国の発展を支援します。

カンボジアビジネスモデルコンテストを開催しました

2015 年 2 月 8 日(日)、カンボジアのプノンペンで第 5 回ビジネスモデルコンテスト最終選考会ならびに表彰式が開催されました。このコンテストは、CIESF がカンボジアの大学と協力して開催しているもので、若者たちから起業家を育成する支援事業として行っています。カンボジア資本の企業がまだまだ少ないカンボジアの経済発展には、若者たちが起業して、将来雇用を創出することが必要です。起業意識の高いカンボジア人大学生を対象に、CIESF では毎年このコンテストを開催しています。3 人 1 チームで 1 つのビジネスモデルを募集していますが、今回は



プレゼンテーションの様子



1 位を受賞したチームへの表彰

65 件の応募があり、最終選考会には 10 チームが残りました。当日の午前 9 時から午後 3 時までの間に、10 チームそれぞれが持ち時間 15 分でビジネスモデルのプレゼンテーションを行いました。どのチームも、何か月もかけてブラッシュアップしてきたビジネスモデルを、英語で説明します。プレゼンテーションの後は、審査員による質疑応答がありました。審査員のみならずも真剣で、かなり厳しい質問もありましたが、研修で実践経営学を学んだ学生たちは、しっかりと受け答えをしていました。最終選考会と言っても、終始ビビリた雰囲気はなく、若者たちのユーモアのあるプレゼンテーションで、会場に笑いが起こる場面もありました。

午後 6 時からの表彰式には、スポンサーや審査員をはじめ、カンボジア教育省の H.E.Dr. Hang Chuon Naron 大臣もお招きして、開催されました。カンボジア国内のテレビや新聞等のメディアの方々も多く見られ、このイベントが国を挙げた盛大なものである様子が伝わりました。主催である CIESF の理事長大久保秀夫の挨拶からはじまり、来賓の方々からこのイベント開催へのお言葉を頂戴いただきましたが、来賓の最後に、教育大臣からのご挨拶がありました。カンボジアの未来にとっては、起業家育成をはじめとした、人材育成が非常に重要であることと、このようなコンテストを開催する CIESF をはじめとした関係団体・企業への感謝のお言葉もいただきました。

表彰式の中盤で、受賞チームのビジネスモデル名が呼ばれると、会場じゅうに歓喜の声と拍手がわき起こりました。受賞したチームのビジネスモデルは、以下となります。

カンボジアビジネスモデルコンテスト受賞チームとビジネスモデル

- 1位: PIR Funeral Event Agency**
→カンボジアにはまだない、ワンストップで葬儀までを執り行う代理店
- 2位: Khmer Social Tour(KST)**
→社会貢献と旅行が一緒になった新しいソーシャルツアー会社
- 3位: Kroib Puch Book Collection**
→カンボジアの幼児教育のための絵本製作会社





【講演いたします】

CIESF では、活動をお伝えする講演活動を行っています。話者は、CIESF 創設メンバーであり、理事・事務局長の戸田陽子です。団体設立から日本の事務局運営を行ってきた女性の視点で、カンボジアをはじめとした途上国にとって、今必要な教育支援についてお話いたします。少人数からイベントでのコンテンツとしてなど、ご相談に応じますので、ご興味のある方はお問い合わせください。

特集 教育関連企業と社会貢献⑦

カンボジアをはじめとした途上国の教育支援を行っている私たち公益財団法人 CIESF は、日本の教育について調べて、考えてみることにしました。現在カンボジアにおいては、学校という建物(=ハードウェア)ではなく、教育の中身(=ソフトウェア)の支援を行っています。具体的には、教師の質の向上を目指しベテラン教師を現地の教員養成校に派遣する「**国境なき教師団**」事業。そしてカンボジア教育省の若手官僚から国の教育政策を担う人材を育成する**教育政策大学院大学事業**です。日本の教育に基づいて、カンボジアに適した形でアドバイスをを行うのですが、基本となる日本の教育について、きちんと知っておかなければならないと思いました。現在、日本の教育も様々な課題を抱えています。その課題解決の課程や方法は、将来、途上国の教育支援に必ず活かせると想定しています。

この特集では、教育関連事業を行っている企業・団体の方にインタビューを行い、学校とは違う角度で日本の教育における課題について伺っています。



カンボジアで活動する「国境なき教師団」の教育アドバイザー

東京コミュニティスクール 後編その1

今号では、知力だけではなく、豊かな心や健康な体などの生きる力を兼ね備え、社会性をもった一人一人の人間の成長を支援するための教育を行っている、NPO 法人東京コミュニティスクール(東京都中野区)のご紹介の後編その1です。お話を聞かせてくださったのは、校長の市川力(いちかわちから)さんです。

「探究する学び」

東京コミュニティスクール(以下 TCS)の時間割を見せていただくと、「国語」「算数」「理科」「社会」といった文字が見当たりません。たとえば、小学校 6 年生の木曜日は、「ENGLISH」「読む」「ことば」「みん算」「テーマ」「テーマ」の 6 時間です。「テーマ」が、言うなれば「社会」や「理科」に相当する学習のようです。テーマ学習は、教科という切り口で探究する学び。私が訪ねた日は、4 年生が「万象原理」という探究領域の「てこでも動かない?」という授業でした。だから、教室にはいません。担任の先生と市川校長と一緒に公園に行って、滑車を使って校長を持ち上げる実験をしていました。「どうやったらおっちゃんを軽く持ち上げることができるだろうか?」それを考えるのは、先生ではなく子どもたちです。ちなみに、TCS では、市川校長のことを「おっちゃん」と呼んでいます。担任の先生も「おっちゃん」も、子ども同士がけん



職員室はなく先生は可動式の椅子に座り児童を見守ります

かをしていてもわざと口を出しません。それは、こう考えるからです。

「子ども同士のけんかは、コラボレーティブ(協力的)になるためのものです。私たちが止めに入らないことに対して、何か考えがあるのではないかと考えてくれる子になってもらいたいということもあります。」(市川)

学びについても、子ども同士がチームワークを持って課題に取り組むことをとても重要視しています。そこで担任の先生や「おっちゃん」と呼ばれる校長は、そのチームが動くために刺激を与える人=ジェネレーターという役割を担っているのです。このような教育の仕方をしている学校は、世界でもほとんどないそうです。このジェネレーター1 名が子どもたちに作用するのに適している人数が、最大でも 9 名ということのようです(TCS の各学年の定員は 9 名)。

TCS の子どもたちは極めて仲がいいように見えました。その要素となっているのは、問題を解決する際に、全員が知恵を出し合って解決策を探すという学習方法にあります。答えに行き詰ったとき、子どもたちはその状況を「つらたのしい」と表現していました。つらくて、楽しい。問題解決には悩んだり失敗したりとつらいこともある、けれど、楽しいと言うのです。この様子から、社会人の自分が、子どもたちに勇気をもたらしてしまいました。TCS では、間違いなくひとつの、仕組みのよい社会ができ上がっています。

(次号につづく)

「国境なき教師団」活動報告会を行いました

「国境なき教師団」にご支援いただいている東京のロータリークラブを代表して 7 クラブの方々カンボジアに視察訪問に来られたので、活動の成果を知っていただくために、2 月上旬に活動報告会を開催しました。報告会では、日本人ボランティアだけではなく、支援を受けたプレイベン州小学校教員養成校の校長先生はじめ、理科と算数の教官にも発表していただきました。発表したカンボジア人の教官は、「**理数科の教材を支援していただくだけではなく、日本人ボランティアの先生が、使い方の指導や管理の仕方、実験方法などを教えてください、教師としての能力が高まった。とても良い関係を築けている。**」という、成果について報告してくださいました。ロータリークラブのご支援のおかげで、カンボジアの教員養成校では、教材教具が少しずつ増えてきました。しかし、授業の中で学生たちが教具に手を触れて体験してもらうには、まとまった数の教材教具が必要であり、まだまだ教材教具の数は不足した状態です。限られた教材の中で、各教員養成校に派遣された「国境なき教師団」の日本人ボランティア教師が創意工夫しながら、現地の教官たちに指導をして、教師育成のために、日々活動をしています。



カンボジア人教官による成果発表の様子(算数)

ご支援ありがとうございます (1 月)

CIESF の活動は、多くのサポーターの方々を支えられています。法人サポーターの皆さま(プラチナ・ゴールド・シルバー・ブロンズサポーター他)・個人サポーターの皆さま(スペシャル・個人サポーター・「国境なき教師団」応援団他)には、心より感謝申し上げます。1 月にご寄付を頂戴した方々を下記にご紹介させていただきます(1/1~1/31)。

- 法人サポーター(ゴールドサポーター):サムライノードル株式会社/株式会社イトジョイ・フードサービス/株式会社あるテンパ/株式会社まる漢製薬/株式会社晴天/日本ビルケア株式会社/株式会社不二興産/ツヤトモ株式会社/一般社団法人日本しぐさ協会(旧:オフィスカラスステージ)/株式会社新紙浅/三栄ビルサービス株式会社
- 法人サポーター(シルバーサポーター):株式会社幸せの種/東日本少額短期保険株式会社/株式会社在り方経営/株式会社ピュアリー/株式会社日進中部/株式会社奴ダイニング/有限会社クリーク/有限会社 MATZ/株式会社おたより/株式会社ファイントレーディングジャパン
- 法人サポーター(ブロンズサポーター):ピースドレー株式会社/株式会社オフィスナチュラルズ/株式会社ハイパリュール/株式会社コーウェル/有限会社アップライジング/福井キャンソ事務機株式会社/株式会社アース
- 支援企画寄付:リネットジャングル株式会社/スマイルキュー株式会社
- スペシャルサポーター:本多均/河野孝
- 個人サポーター:日田春光
- 「国境なき教師団」応援団:高良靖彦/伊藤亮三
- 一般寄付:不二聖心女子学園/長崎県立大学 EAST

※以上敬称略